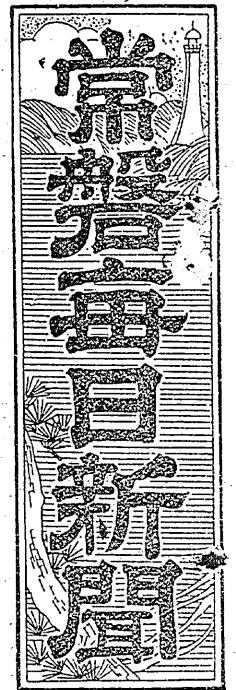


刊夕日七十月一十



定価一冊五元... 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

石城郡下兒童 唱歌會を聴く

根本邦雄

一、吉野山の唱歌者は特に口形に注意したらしくプログラム順序のトップとして誠によく氣合を出しました...

二、『鬼のダンス』面白い、遊戯で観る者聴く者の体が軽くゆれ氣分がよかつたです...

三、『田舎の冬』獨唱者の疲勞が現れてゐた様でしたね、半音位の移調の必要...



肌がかさかさしたり、あれたり

は感じませんでしたか、其れに伴つてゆくピアノも導的作用もつと効果的に表現したら疲れた獨唱者も幾分樂だつたでせう...

笑話 妻「あなた、秋が来ましたわ」 科學の教授「ふん僕は今忙がしくて暇がないから明日来る様に言つて追返してくれ!!」



常磐歌壇 山王台湖人

四、『汽車』(齊唱)大部元氣勇ましく進んで来た様... 五、風と水二部合唱として高尚なものでしたが口形法に注意ありたかつたです...

二間か三間位の住み心地よい文化住宅... 月賦建築 (第一回申込受) 御希望者は至急御相談にお出下さい

改築披露 最新式設備ト 進歩セル技術 岡山寫眞館 電六二一五

星野時計店 高價買入—金、銀、債券 安價販賣—時計と眼鏡

耳鼻咽喉科専門 氣管食道科 大和田醫院 平南町 (電話一七〇番)

高級貸切... 不二タクシ 電・32

漆器の御買入時 漆器は空前の大暴落を致して... 共榮漆器店 (平町3丁目36元郵便局東通)

Advertisement for '魚問屋' (Fish Market) with large stylized characters and a circular logo. Text includes '産名城磐' and '最新式設備'.

オキシヘーラー いろんな病でも必ず治る オキシヘーラー は心臟の働きを正しく強し、如何なる難症も熱心繼續治療によつて必ず治療す、殊に急性症の治りの急速なることに眞に驚嘆の外なし...

交々至る悲報に...

一喜一憂の石城各濱

生死を案ずる人達の群れが

終日沖をにらんで右往左往

大時化の慘禍に多数生死不明者を出した小名濱、江名四倉、豊間等漁業各地は此等漁船の遭難、避難の飛報交々達して

其の度毎に一喜一憂未だに不明を傳へらるる出漁者の生死を案ずる人達の群が其の業務を放棄して右往左往する様は悲惨の極みだが出漁船中青森縣淺虫紋港に避難

乗組員 無事と傳へられてゐた四倉町鈴木幸平所乗漁船四十八社丸(四十噸五十馬力船)は其の後船主鈴木方から照會の結果同港への避難は誤報と判明幸平外乗組員十五名の生死は依然不明で或は波浪に呑まれたのではないかと觀られ家族一同は悲嘆に暮れてゐる

石城郡小名濱町海産物共同出荷組合では目下不況に鑑み出荷料金の値下を要求する者あるが一方には是れに反対し寧ろ値上をなすべきであるとの意見を固持する者あり意見の衝突を來して居るから相當紛糾する模様である

値上と値下で

一悶着

海軍志願兵

約二百名か

石城郡下に於ける昭和八年度海軍志願兵の試験は來年三月三日より三日間平第三小學校に於いて行はれるが郡下の志願者数は約二百名の豫定であると

磐中對平商野球戦

廿三日及び廿六日に變更

既報磐城中等學校對平商業學校の第二期定期野球戦は來る十九、二十日兩日磐中グラウンドに於て行ふ筈の處當日は磐陽野球大會の準決勝及び決勝戦が行はれる外早慶野球リーグ戦のある日である關係上一般フアンの希望に依り來る二十三、二十六の兩日午前十時より行ふ事に變更された

平町人事

平町 人 事
回 出 主
△鎌田二八 當時石城郡神谷村字宮前植松健次郎氏三男明
回 死 亡
△南町五七 酒井ミツ(二六)
△鎌田四二 當時岩手縣江刺郡田原村字石原及川光山(七九)

稲タバ分配

平署の肝煎りに

何れも感謝して

平消防組が總動員で鎌田橋四軒町裏の二ヶ所から拾ひ上げた夏井川上流各村の流失稲束は昨日までに合計九千三百五十九把に達し平署傍らの公會堂敷地廣場は此の拾ひ上げられた稲束で黄金の山を築いてゐたが平署では被害十二町六反歩と見て十六日午後五時から被害各村の代表者に對し次の如く按分配給したが代表者は何れも感謝し何等の紛糾を見なかつた

△平窪村五千五百把

築港の岸垣

約五十間崩壊

石城郡小名濱築港の岸壁約五十間は十五日夜の大型化

に崩壊して海中に埋没し損害多数に上る目である

青雲の志!

渡滿の憧れもある

磐中生の志望別

磐城中等學校にては來春學窓を巣立つ五年生二百五名に對し此程志望別を調査したが其の結果は左の如く上級學校志望が最も多く時節柄渡滿志望者も三名ある
高等學校三五、師範二部 二一高等工業一七、高等師範一一、醫專一〇、大

生徒の禮儀作法

科目を獨立して教授を徹底

平町各小學校にては從來生徒の禮儀作法を修身科に附随し必要に應じて教授してゐたが今後は一層是れが徹

平映畫界

□平館 松竹時代劇、小笠章二郎、小泉嘉輔 主演
『俠勇三馬鹿鳥』日活時代劇、海江田讓二、淺香新八郎主演『江戸染草鞋』松竹現代劇、岩田祐吉、山内光、川崎弘子、岡田嘉子主演『乳姉妹』
□世界館 新興時代劇、市川百々之助主演『坂本龍馬』新興時代劇、尾上菊十、歌川絹枝主演

毎度御ひいさ

有難う御座います

江戸前都壽し始めました。

是非御試食を願います。

大蒲焼 折壽司 仕出し部

田町 魚 榮

電話四二四番

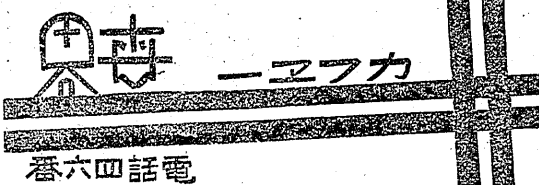
斯界の權威!!! 大塚の靴

自製編上靴 六圓
學生靴 女學生半靴 五圓

紳士靴 弊店自慢の流行新形

大塚製靴部 電話七七番

食事 喫茶



電話四六番

宿命か？海の犠牲

兄弟三名共に惨死

父親も十数年前行方不明

またぞろ船底から屍体一個

寶來丸哀話

昨報十五日屍体一個を乗せて高久海岸に漂着した双葉郡久の濱町波庄太郎所有寶來丸は大破甚しく到底使用に堪えない爲め解体する 事となり同海岸に横付の儘作業を進めてゐたが十六日夜に至りまたぞろ同船底から一ヶの屍体を発見搬出したが検視の結果乗組漁夫鈴木千代松(四二)と判明した尙此の遭難者船主波庄太郎外十七名

小名濱の大破漁船

その損害一萬五千圓に

此の外傳馬船二百隻

石城郡小名濱に於いて暴風雨の爲め海岸に叩きつけられ大破した發動機船は左記の如く合計卅四艘にて此の損害一萬五千四百五十圓と稱せされ此の外傳馬船二百艘の被害を合算する時は非常な巨額に達すであらうと

所有主 船名 損害額

松原 唯七 松丸一、五〇〇

野崎 定行 壽丸一、二〇〇

水産工業社 白龍丸 八〇〇

圓義 之助 磐盛丸 四〇〇

馬上 政治 清徳丸 三〇〇

藤社 太一 大鷹丸 五〇〇

竹永 重三 清雲丸 三〇〇

中野鐵之助 主水丸 二〇〇

比佐 キヲ 第一明神丸 二〇〇

同 第二明神丸 二〇〇

大田定次郎 徳榮丸 一五〇

水野キヨ 第二徳榮丸 一五〇

同 三崎丸 一五〇

馬上奎之助 寶福丸 一〇〇

馬上松太郎 第一共運丸 一〇〇

同 第二共運丸 一〇〇

野崎 直子 第四壽丸 五〇

田島熊次郎 勇丸 一〇〇

比佐兵衛 昭三丸 一〇〇

田中權次郎 第一福榮丸 一〇〇

同 第二同 一〇〇

同 第三同 一〇〇

鈴木 房吉 波津見丸 一〇〇

立花 四郎 新山丸 一〇〇

庄司 寅吉 旭丸 一〇〇

小林寅之助 比須丸 一〇〇

氣野キヨシ 第二徳永丸 一〇〇

本縣唯一の大型漁船

盛厚丸無事に歸る

然も遭難船を救助して

江名濱の一安心

石城郡江名町の本縣唯一の鋼鐵製造洋漁業船盛厚丸は激浪に押流され一時行衛不明と傳へられたが同船は十五日朝千葉縣沖合を江名濱に向つて歸航の途中東京市京橋區二丁目八一、伊勢國商會、會澤船吉所有貨物船第二東洋丸(十九噸六十五馬力)が船體を大破し遭難

未だ行衛不明の

遠洋漁船は三隻

行衛不明中の石城郡江名町十一名が乗組み昨十六日夜宮城縣鹽釜港に避難せる事判明したが海上が穏やかに



今晚は北西の曇り晴れ明日は晴れたり曇りたり

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
童話「父の祈り」安倍秀雄
後七、三〇 講演「將來の國民体育について」嘉納治五郎
後八、〇〇 俳諧「田舎唄」
外八曲高橋剛其他
後八、三〇 歌澤二つ歌

明日の部

同 第三同 一、三〇〇
同 第四同 一、三〇〇
野崎 定行 壽和丸 一、七〇〇
水産工業社第二壽和丸 五〇〇
同 油船 五〇〇

澤寅由喜 歌澤寅清子
後八、五〇 浪花節「孝子孝助」東家樂遊
後九、四〇 全國ニュース
氣象通報 番組豫告

課
前一〇、三〇 家庭講座「齒科醫學上見たる兒童の營養問題」宮城縣齒科醫師會長白石景天
後一〇、五〇 連續講談「梅ヶ枝仙之助」(第二席)太田貞水
後一、二〇 運動競技「六大學野球リーグ戦試合状況」
後二、〇〇 婦人講座「丁抹及獨乙に於ける自由國民教育」大谷英一
後二、五〇 運動競技「帝大對立教ラグビー戦試合の如くである」
四十八社丸(四倉)喜榮丸(江名)多福丸(豊岡)

狀況
後五、〇〇 受驗講座「漢文」塚本哲三
後六、〇〇 子供の時間
幼年童話「元ちゃん」の夢」安島八郎
後七、三〇 講演「滿洲の金融と經濟事情について」滿洲中央銀行副總裁山成喬六
後八、〇〇 地唄「狹庭」三絃島原松園 尺八細田揚山
後八、三〇 ラヂオ風景
後九、三〇 日本棋院秋季東西大手合戦續

銀貨偽造犯

豫審が終結

石城郡内郷村大字小島宇川崎二番地居住北海道生れ無職金成寛七(五七)の銀や白銅の偽造事件は過般來平支部に於て荒井豫審判事係り淺野書記立會の下に取調べ中の處本日有罪と決定公判に廻されたので近日中島裁判長係りの下に開廷される事になつた被告寛七は本年七月四日肩書地に於て五十錢銀貨及び十錢白銅の偽造を企てセメントハミガキ粉を水で練り木の枠を造り此の中に入れ五十錢銀貨及十錢白銅の表裏を押し型を作

犯人逮捕

警官に賞與

平警察署の田中、井上巡查は八月申賭博犯紺野甚次郎外三名を協力逮捕、同く長山林の兩巡查は去月中窃盜犯大橋平治郎を逮捕、大谷安藤兩刑事は殺人犯人鈴木トヨを檢擧したので本日赤木知事より夫々賞與として金一封を贈られた

家屋新築

頗る便宜

伊東一君の計劃深刻な不況を思はす大規模な博覽會を實現せしめて花時の平町に活況を添えた平町南町伊東一氏は一

般サラーマンに家屋新築の便宜を圖る事となり其の計劃を發表したが夫れに依ると毎年十圓宛の家賃を納入すれば五ヶ年後に自己所有の家屋とれり店子生活の不便より免るゝ事が出来るものであつて各方面に相當反響を來すであらうと

平職業紹介所報告

回人を求める方

△出前持 二十才 尋卒
月五圓(平町某カフネー)

△農夫 二十六才 委細面談(高久村某)

△外交員 五十才迄 高卒
給料歩合(平町某)

△女中 二十五才 尋卒
給料面談(平町某旅館)

△職を求めめる方

△鑄物工見習 十七才 高卒
給料面談(内郷村某)

△印刷工 十六才 中學半退
給料面談(内郷村某)

△出前持 二十才 高卒
給料面談(平町某)

△雜夫 四十一才 尋卒
給料面談(平町某)

△女事務員 十七才 高女
卒給料面談(平町某)



【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第二百三席 平手造酒

助五郎の返報

飯岡の助五郎は子分一同を見渡して

助「俺が今日まで親分の五郎藏どんの繩張り十八ヶ所を持耐へて居られたは一つはお前方の力に依る所、又關八州で飯岡の助五郎と云へば堅氣の者も知る程のまづ親分らしくなつた、所が繁藏に其繩張りへ手を入れられ其上この間多勢にて切込まれた、一時あいつに花を持たして歸したがあの時には子分も大分死んでゐるその返報をして死んだ者を浮かばせてやりてえ、定めしお前方も今まで返報もせず繁藏の暴れる儘にして置いたは意氣地のねえ奴と俺の仕打が男らしくないと思ふだらうが、さア押して来いと向ふで用心をして居る所へ入敷を向けよし勝にもしるそれでは此方に怪人人も多く出る、味方の損を少くして敵を弱めるが眞の勝ちだ、繁藏に油断をさせる爲に今まで黙つてゐた、そこで今夜は人数を揃へて笹川へ押寄せて繁藏を首にするどうぞ腕貸をしてくれ」

是を聞くと一同勇み立ち
○「親分では今夜出か

すか」

助「ウム舟は仕立て、置いたそれに乗つて笹川まで押して行く事にしよう、まだ時刻は早い一杯やれ」
とこれから酒肴を出して酌交し、夜に入ると追ひ追

も見えぬから油断をしてゐた所へこれだけの人数が押し掛けて来れば必ず不覺を取る、スルト意外な事から飯岡から人数の出る事を知つて急にその用意をして助五郎を散々悩ましたが、それは何う云ふ所より知れたかと云ふに銚子の傍に新生と云ふ所がある、そこに留吉と云ふ者が居ります、以前は銚子の俠客五郎藏の子分で助五郎とは兄弟分、諸方の賭場に立入り血を浴びた事もあるが賢い人ですから長脇差の足を洗ひ、この新生の腹に小間物の店を出



ひ子分も集まつて来た、そこで打揃つて飯岡を出て、あれから松岸へ来て風窓の半次の許ですつかり人数を調べその名を帳簿に記し傳馬三艘に打乗り總勢八十人にて利根川を廻る、かふ云ふ事が出来たと知らぬ繁藏、飯岡から返報す

し傍ら質屋をいたして如才なく立廻り大そう店も繁昌して年に二三百兩位残る身代になつた、夫婦の間に男子があつてこれを留次郎と云ひ今年二十一、洵に親孝行で従つて物優しい道樂もせず暇があると一室に閉ち籠つて本を讀んでゐる。

それを心配したは留吉夫婦家にはかり引籠つてゐては身體に障るだらう、外出をして氣を晴らすと好いと折々云ひますが當人はそれを嫌ひ相變らず引籠つて本を讀んでゐる、と正月の十五日仲間の參會で銚子の三河屋と云ふ料理屋に大勢集まります、留吉は之へ名代として留次郎を出す事にして父「婆アさん、今日の參會には俺の名代に留をやらうと思ふ、他人の中へ出れば氣も浮立ち若い者らしく陽氣になるだらう、明けても暮ても本ばかり讀んでゐるとは身體は悪くなるばかりだ、チト世の中で採まれなければ男にはなれぬえ」と云ふと女房が

女「お前さんと留次郎とは出来が違ふから仕方がないが、兎も角も留次郎を呼んで来ませう」
父「行くには及ばぬえ、オイ、留次郎やちよつと此處へ來な」
留「何を御用でございますか」
父「今日はな銚子の三河屋に例年の通り仲間の參會がある、俺の名代に行つておくれ」
留「畏まりました」
父「向ふには帳場が出来てゐるからまづそこへ行つて會費を出す、この一步届けろ、すると向ふから膳札をくれるをいつを失くしては何も喰べられない、能くこれを覺へて置きな、二階へ通つたならば大戸の隣へ坐るがい、酒飲めと並ぶと

迷惑をする、然し見たばかりでは上戸か下戸か判るまい、ブクブク肥た人はまづ大概酒飲みだな」
留「ハイ解りました」

質井三 店
電話 四〇六
平町南町
目六番
川岸

印刷物の御用命
常磐日印刷株式會社
電話 三〇六番

看護婦急派の求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話 三〇七番

外科 専門 X
科線光
上田外科病院
平町南町
電話 二九番

うなぎの御用命は うなぎ 奴
有難ふ御座ります
毎度御ひいき
平町南町(電話二二番)
ホール御座敷の設備あります。皆様の御立寄を!!

専門 内科一般
川井内科診療所
電話 一八一番
女醫 川井安子

胃腸病妙藥
昔ハ料理ニ必ズ「茸」ヲ用タリ今ハ「アマリ」使ハズ甚不都合ノ次第ナリ「シ、茸」ヲ煎ジ臥寝前ニ服用スレバ胃腸ヲ整ヘ便通正シク氣分爽ナリ諸病ヲ未然ニ防グ効能アリ人助ノ爲メ廣告ス此ノ秋ハ茸類ノ出ル時節ナレバ新茸程効能著シ各家庭ニテ百匁位ツ、常備シ置ク事肝要ナリ